

海外安全対策情報（２０２１年４月～９月：コロンビア）

１ 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（１）全般

ボゴタ市、メデジン市、カリ市等の都市部を含め、窃盗・強盗の一般犯罪被害が昼夜を問わず多発している。比較的治安が良いとされる地域でも、飲食店内の置き引き、バイクを利用した強盗・ひったくり、夜間の路上強盗等の発生が見られる。また、SNSを通じて知り合いになり、飲食店や自宅等で飲食をする機会に乗じて、飲食物に睡眠薬を混入させて意識を失わせる睡眠薬強盗被害や、警察官に成りすまして職務質問を装い金品をだまし取る等、様々な手口の犯罪が見られる。

２０２０年３月以降の新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出制限措置の影響で、一時的に犯罪統計の減少が見られたが、外出制限緩和以降、特にスマートフォンを狙った強盗やひったくりなどをはじめとする犯罪件数が再度増加しており、大きな治安改善は認められない。

被害に遭わないためには、人気のない道路は日中でも注意する、身の回りの物から目を離さない、怪しい人物に狙われていないか注意する等、常に警戒を怠らない心構えが必要である。万が一、強盗やひったくりに遭った場合は生命を第一に考え、絶対に抵抗してはいけない。

（２）邦人犯罪被害事案

- ・ ７月２９日午後５時ころ、被害者がボゴタ市北部路上を歩行中に、スマートフォンの着信音に気づき歩道上でメッセージを確認していたところ、突然後方から近づいてきたバイクの犯人にスマートフォンをひったくられる被害を受けた。

２ テロ・爆弾事件発生状況・関連報道

E L N、F A R C 離反兵等の反政府武装組織の活動が活発な地域で、治安当局やインフラ施設に対するテロ事件が発生している。ボゴタ市では２０１７年６月、ショッピングセンター「アンディーノ」においてフランス人女性を含む３名が死亡する無差別テロ事件が発生しているほか、２０１９年１月にも市内の警察学校内でE L Nによる自動車爆弾テロで学生２２名が死亡するなど、今後もテロへの警戒は必要である。

- ・ ６月１５日、ノルテ・デ・サントアンデール県ククタ市のコロンビア軍基地内で自動車爆弾テロにより、軍人３４名、市民２名の計３６名が負傷した。
- ・ ６月２５日、大統領や大臣の乗ったヘリコプターが飛行中に機関銃で襲撃された。機体の損傷のみで負傷者なし。
- ・ ８月３０日、ノルテ・デ・サントアンデール県ククタ市の警察署に設置された爆

弾が爆発し、警察官１２名、市民２名の計４名が負傷した。

- ・ ８月３０日、アンティオキア県フロンティエーノ市で「クラン・デル・ゴルフ」による警察官を狙った爆弾テロにより、パトロール中の警察官２名が死亡した。
- ・ ９月１２日、仲間が逮捕されたことに対する報復として、ＥＬＮがサンタンドール県バランカベルメハの油田に仕掛けた爆発物が爆発、大火災が発生したが負傷者なし。

３ 誘拐・脅迫事件発生状況

ＥＬＮ等の反政府武装組織や麻薬犯罪組織が、身代金目的の誘拐、恐喝、脅迫を行い、資金源としている。都市部では犯罪組織による偽装タクシーを使用した短時間誘拐の犯行もあることから、流しのタクシー（タクシーアプリ等で呼ぶ無線タクシーではない）は、利用しない等の注意が必要である。

- ・ ベネズエラ人犯罪組織が、アンティオキア県メデジン市を訪問中のスペイン人とドミニカ人がベネズエラ人を誘拐し、４，５００ユーロを要求していたが、９月２９日警察により被害者は救出された。